

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		公共交通運行事業		担当課 企画課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間 平成13年度～
	施策	道路網・公共交通体系の整備		種別 任意的事務
	基本事業	公共交通網の充実		市民協働 企画立案への参画
予算科目コード		01-020107-09 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成8年9月に運行開始した福祉循環バスを、平成13年10月からコミュニティバスに形態変更して運行を継続していたが、様々な課題が見受けられるようになってきたため、平成20年6月に、守谷市循環バスのあり方等研究会を設置し、今後のバスのあり方等について検討を行った。その結果、路線バスとコミュニティバスの補完関係を明確にし、連携の強化を目的として、平成20年度に守谷市地域公共交通活性化協議会を設置し、協議会を主体に公共交通の見直しに取り組んでいる。	1 守谷市地域公共交通活性化協議会（事務局：市企画課）が、もりやコミュニティバス「モコバス」を運営する（運行は関東鉄道（株）に委託。運行経費から運賃収入を差し引いた額を負担する）。 [運行路線数及び便数] ・いこいの郷・板戸井ルート<A・左回り> 14 便/日 ・いこいの郷・板戸井ルート<A・右回り> 14 便/日 ・南守谷ルート<B・左回り> 16 便/日 ・南守谷ルート<B・右回り> 16 便/日 ・買い物・病院ルート<C・左回り> 4 便/日 ・買い物・病院ルート<C・右回り> 4 便/日 2 市内公共交通の活性化を促進するための検証・検討を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
1 公共交通空白地帯の解消し、市内バス交通の充実と利便性を向上を図る。 2 自動車運転が困難な高齢者・交通弱者のための交通手段を確保する。 3 自家用車から公共交通利用への転換促進による低炭素のまちづくりを行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
バス、鉄道等の公共交通による快適な移動を確保する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
運行経費を圧縮するためにも更なる利用者増加，特に高齢者の利用の増加を図る必要がある。 そのために，公共交通の利便性を向上させる必要がある。	高齢者の利用を増加させるため，高齢者向けの利用促進事業（体験乗車等）を実施した。 地方創生加速化交付金事業において，バスロケーションシステム，ICカードリーダーを導入して利便性を強化し，各地区における市民ニーズを的確にとらえるため，公共交通基礎調査を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
年間利用者数（人）	138, 243. 00	138, 232. 00	137, 395. 00	138, 700. 00	146, 000. 00
	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	モコバスの利用人数は横ばいである。地方創生加速化交付金事業での公共交通の利便性向上策が年度末に完了したため、今後、その効果が表れてくることが期待される。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	公共交通の利便性向上策をより周知し、さらに公共交通基礎調査の報告書をもとに公共交通の再編に取り組むことで利用者の増加を図る。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	89,548	91,334	91,876	93,705	92,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	89,548	91,334	91,876	93,705	92,000
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	209.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	857	0	0
トータルコスト		89,548	91,334	92,733	93,705	92,000

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		公共交通強化による地方移住促進事業		担当課 企画課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間 平成28年度～平成28年度
	施策	道路網・公共交通体系の整備		種別 任意の事務
	基本事業	公共交通網の充実		市民協働
予算科目コード		01-020107-16 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
移住きっかけの魅力づくりとして、公共交通の強化を図る。また、一過性の公共交通の強化に終わらないように、公共交通に関する意向調査等を実施・検証する。	バスロケーションシステムをモコバス・路線バスに導入するとともに、電子マネーに対応するための交通系ICカードリーダーを導入し、公共交通の強化を図る。 さらに、各地区における市民ニーズを的確にとらえるため、公共交通基礎調査を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市内の公共交通の利便性をよりよく向上した結果、市外の方が移住するきっかけになる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
バス、鉄道等の公共交通による快適な移動を確保する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
該当なし	バスロケーションシステム、ICカードリーダーの導入及び公共交通基礎調査が完了した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
進捗率	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	計画していた事業が予定どおり進捗した。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 □維持	□改善・効率化 ■統合 □廃止・終了	計画どおり当該事業は終了（地方創生加速化交付金充当事業）。 次年度は、公共交通運行事業の中で、公共交通基礎調査の報告書を基に、公共交通を再編するための地域公共交通網形成計画を策定する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	31,819	0	0
	国・県支出金	0	0	31,819	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	835.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	3,424	0	0
トータルコスト		0	0	35,243	0	0